

Tokuyama College		Year	2024		Course Title	Overseas Training
Course Information						
Course Code		0031		Course Category	Specialized / Elective	
Class Format				Credits	: 2	
Department		Department of Civil Engineering and Architecture		Student Grade	2nd	
Term		Intensive		Classes per Week		
Textbook and/or Teaching Materials		技術者倫理: グローバル社会で活躍するための異文化理解 (実教出版)				
Instructor		Harada Norihiko,Kuramashi Yasuhiro,Hashizume Yoshimitsu,Emoto Akemi				
Course Objectives						
グローバル化が進む世界にあって、国内外で活躍する実践的な技術者としての英語力にとどまらない異文化対応力や、地域のグローバル化における課題を発掘し、それらの課題をさまざまな文化的背景を持つ人々とともに解決するための課題解決力と実践的なコミュニケーション能力などを身につける。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
異文化理解力		日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重するとともに、自らの文化的な違いを、相手に理解させることができる。		お互いの文化の違いを尊重し、グローバルな視点で、その違いを許容することができる。		文化的な違いに基づく価値観や、倫理観の違いを理解することができない。
異文化対応力		日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、その違いに対応することができる。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で、文化的な違いに対応することが出来る。		異なる文化的違いを理解し、対応することができない。
課題発見力		日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を発見することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で文化的な違いに対応することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、文化的な違いに対応することが出来ない。
課題解決力		日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を解決することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で共通の課題を解決することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を解決することが出来ない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		国内外での研修を通じて、日本語以外の学習言語でのコミュニケーション力を身に付け、また現地での様々な活動を通して異文化理解力、異文化対応能力を身につける。				
Style		研修の説明、海外協定校とのオンライン交流、海外渡航前の危機管理研修及び研修の目的を明確にするための事前レポート作成、海外研修、報告書のまとめ、及び研修成果発表会を実施し、その成果に基づいて到達度を評価する。				
Notice		受け入れ側、及び本校の事情により、必ずしも実施出来るものではない。状況によっては、中断もあり得る。				
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	学内ガイダンス、事前テスト	学内ガイダンスに参加し、研修の内容を理解できる。		
		2nd	海外協定校等とのオンライン事前交流①	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		3rd	海外協定校等とのオンライン事前交流②	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		4th	海外協定校等とのオンライン事前交流③	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		5th	海外危機管理	国際交流室長からの海外における危機管理に関して理解できる		
		6th	事前レポート準備	1) 海外研修事前レポート(目標など)を作成できる、2) 渡航前の準備ができる		
		7th	事前レポート発表	1) 海外研究事前レポート発表会で、自身の研修の意義や目的について伝えることができる		
		8th	海外研修注意事項・質疑応答	海外研修出発前注意事項を理解できる		
	2nd Quarter	9th	現地研修、現地レポート(徳山高専公式YouTube, Facebook等)	1) 現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2) 授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる		
		10th	現地研修、現地レポート(徳山高専公式YouTube, Facebook等)	1) 現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2) 授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる		

		11th	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		12th	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		13th	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		14th	成果発表準備（ポスターまたはスライド）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		15th	成果発表準備（ポスターまたはスライド）	研修の成果発表のためにポスターあるいはスライドが準備できる
		16th	成果発表、事後テスト	海外研修成果発表ができる、事後テスト
2nd Semester	3rd Quarter	1st		
		2nd		
		3rd		
		4th		
		5th		
		6th		
		7th		
		8th		
	4th Quarter	9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	30	0	0	0	0	70
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0